

琉球から吹く風

～ 噺・音楽・舞踊で綴る琉球の歴史と伝統～

うちなー噺家
藤木勇人 改め
立川志いさー

シಂಗァーソングライター！
琉球王朝の末裔
普天間かおり

沖縄の民族芸能の「パフォーマー」
琉球伝統歌舞集団「琉神」



しまんちゅ
島人の案内で
沖縄をまるかじり!

歌

芭蕉布
ていんさぐぬ花
童神
さとうさび畑
ほか

噺

立川志いさーの語り
沖縄の方言や
魅力を紹介

舞踊

琉球獅子舞
エイサー
カチャーシー
ほか

※曲目は変更になる場合があります。

2014. 8/9 [土] 18:00開演
(平成26年)

S席:4,500円 A席:3,500円

よこすか芸術劇場

4/26(土)発売

京急汐入駅前/JR横須賀駅徒歩8分

※学生券(24歳までの学生)は一般料金の半額。 ※劇場友の会員は10%OFFとなります。 ※未就学児童の入場はご遠慮ください。
※託児サービスあり。(定員有。8月4日(月)までの事前予約制)お申し込み:長谷川キャリアサポート 045-321-1388(月~金 9時~18時)

■横須賀芸術劇場

電話予約センター ヨコスカ **046-823-9999**
(劇場友の会専用ダイヤル 046-823-7999)

インターネット <http://www.yokosuka-arts.or.jp>
※受付は発売初日18:00より

窓口販売 横須賀中央駅西口モアーズシティ1階/モアーズストリート
芸術劇場1階/サービスセンター内

■チケットぴあ <http://pia.jp/>(Pコード:228-174)

■e+(イープラス) <http://eplus.jp/>

■ローソンチケット 0570-084-003(Lコード:74511)

主催:公益財団法人横須賀芸術文化財団 企画制作: f-Square

人々を魅了してやまない沖縄の伝統芸能や歴史をうちな～噺家 立川志いさ一のリードで紹介。
 聴くものを引き込む立川の語り口と温かみのある方言、沖縄の民謡、普天間かおりのオリジナル曲、
 琉球舞踊、エイサーなどの迫力のパフォーマンスに、沖縄の“心”を感じてみてください。
 晴れわたる空のように澄み切った気持ちになれるかも…



うちな～噺家
 ふじき はやと
 藤木 勇人 改め
 たてかわ し
 立川志いさ一

劇団「笑楽過激団」、「りんけんバンド」を経て、一人ゆんたく芝居『うちな～妄想見聞録』『南島妄想見聞録』と沖縄県内・県外公演を中心に、各地での芝居公演を行う。一方、うちな～噺家と称し「日本の南の島に住む人々の様子」を伝えるため、芝居とおしゃべり(ゆんたく)で笑いを交えながら沖縄県出身者、沖縄好きの人はもちろん沖縄を知らない人たちにも十分に理解してもらえる舞台を創っている。

2013年に落語家 立川志の輔師匠より名前を頂き、藤木勇人から立川志いさ一に改名。

現在舞台と併せて、NHKラジオ第一「沖縄熱中倶楽部」ナビゲーター、ラジオ沖縄「ハイサイ!立川志いさ一のヤマトde沖縄タイム」放送中。

その他、映画・ドラマへの出演、CM出演、本屋コラム執筆など幅広く活動している。



シンガーソングライター・
 琉球王朝の末裔
 ふてんま
 普天間かおり

沖縄県出身。琉球王朝の流れを汲む。

幼少の頃より歌い始め、小学生の頃には既に地元で音楽活動を開始。

2002年、シングル「髪なんか切ったりしない」でテイチクよりメジャーデビュー。その雄大にして繊細な歌唱力で、自身のルーツとなる沖縄音楽に独自の解釈を加え歌い継ぐスタイルや、平和家族などに視点を置いて人を見つめる温かな楽曲の世界観が支持されている。

ラジオ福島「かっつびワイド～けんじとかおりのふれんどラジオ～」(毎週金曜日13時～15時放送)のパーソナリティとしても活躍中。

11年3月11日、ラジオ福島での生放送中に東北地方太平洋沖地震に遭う。

その後、「Smile Again 0311」支援プロジェクトを立ち上げ、避難所でのライブやチャリティーコンサートの開催、震災後に書き下ろした楽曲「Smile Again」を音楽配信し、その収益の中から義援金へ寄付したりと積極的に支援活動を始める。また、本の街 神保町の有志の方々との協力し、福島県の子どもたちへ本を贈る「スマイル文庫」の活動も開始。

子どもたちのもとへ自ら出向き、絵本の読み聞かせや歌を届けている。この「スマイル文庫」の活動では、音楽の枠を超え様々な分野の方々とのつながりを持ちながら、その支援の輪を広げている。

沖縄の民族芸能のパフォーマー
琉球伝統歌舞集団
 りゅうじん
「琉神」

2001年沖縄にて誕生。その後日本の中心である富士の国【静岡】に拠点を移し、国内外に幅広く活動を展開している。

沖縄の民俗芸能を研鑽し、表現や理念、「琉神」としての解釈を加えて舞台芸術にまで高め、静では凛とした空気感を、動では魂を揺さぶる躍動感で生きる力を呼び起こさせます。

その舞台は本場沖縄の実力派アーティストの支持を受け、コンサート帯同・イベント共演など果たしており、近年では1,000人規模の単独コンサートを静岡・東京等で開催のほか、ヨーロッパツアー(7カ国8都市10公演)、ユネスコ国際音楽会議日本代表として出演、地元の静岡市教育委員会認定の学校公演、エイサー教室(静岡・磐田・敦賀)の開催など積極的に活動の場を広げている。

